



平成 31 年 2 月
第 166 号
編集 成田

サンショウにゆうす

(発行)2019 年 2 月
秋田市山王沼田町6-29
カルディア山王1階
TEL:018-874-7441
FAX:018-863-9870

「ボッチャ」って面白い パラスポーツの普及へ向けて



浜松市西区の入野地区社会福祉協議会の「ミニ福祉まつり」が3日に行われました。パラスポーツに関心を持ってもらおうと、「ボッチャ」大会を初開催し、地域の中学生からお年寄りまで三人一組の十八チームが競技を通じ交流を深めたそうです。

ボッチャとは、2020年東京パラリンピックの正式競技で、ボールを投げ合い、目標の白球との距離の近さを競うスポーツ。指導者として招かれた北沢さんは日本選手権四位の最高成績を持つ方。バイク事故で頸椎(けいつい)を損傷し、首から下にまひが残った。「死にたい」と思い詰め、ストレスが重なる中、知人の紹介で出合ったのが、四肢重度機能障害者らのために考案されたボッチャだったそうです。

今回の出場者はほとんどが初体験で、積極的に得点のルールや投げ方のコツを聞いていたそうです。

北沢さんは「ボッチャは健常者も障害者も関係なくできるパラスポーツ。東京パラに向け、皆で盛り上げたい」と話したそうです。



トイレおわりましたか？

本産業技術教育学会の「発明・工夫作品コンテスト」の発明工夫部門で、帝京大理工学部の研究室が開発した介護補助用品が、最高賞の「学会長賞」を受賞しました。トイレトーパーの引き出し動作を検知し介護者にトイレの終了を通知する作品で、認知症や高齢者の介護現場における介護者の負担軽減や、トイレ内での転倒事故の防止が図れます。同研究室の最高賞受賞は4年連続で、受賞メンバーは1年生だそうです！コンテストでは5部門計42作品の応募を勝ち抜きました。



けん玉で介護予防！？

年末の紅白歌合戦では、けん玉でギネス記録を樹立しましたね。このけん玉を「介護予防」として行う人が増えているそうです。手も使い、全身運動でもあるけん玉は、脳の活性化にもよく、転倒予防にも効果が期待されております。練馬区で認知症予防のためのけん玉を扱ったイベントには、定員20人に対して、50人以上の希望が集まり、高い関心が示されました。集中力を使う技も多く失敗を恐れず楽しむことがポイントだそうです。



さくらウォーカー



春らしい歩行器が登場！！
前腕支持型の歩行器で、業界では少ない明るいデザイン。暖かい春をイメージし、少しでも歩くことが楽しくなるように作製されています。

360単位/月